

事務事業名	除雪機械整備事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課			
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり<<定住環境>>	所属G	維持管理G	課長名	菅田 雅人		
	施策名	(07)道路網の整備	担当者名	佐藤 保興	電話番号	0854-40-1061		
	目的	对生活道路(市道・一般県道)の利便性向上	予算科目	会計	款	大事業	大事業名	除雪施設等整備事業
	基本事業名	(019)道路の補修・維持管理	項目	014002	中事業	除雪機械整備事業		
目的	对生活道路	意図	適正に維持管理する。	項目	103002	中事業	除雪機械整備事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・機械機種調査	
・取り扱い業者調査	
・入札の実施	
・契約	
・納入検査	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動) 導入機種、管理体制等についてセンター協議、入札の実施、検査、精算、納車 【H25現年分】 10,191千円 ・除雪用タイヤドーザー8t級(1人乗)1機 ・ハンドガイド式歩行用除雪機(16ps)1機 ・ハンドガイド式歩行用除雪機(13ps)1機 【H24繰越分】 49,340千円 ・除雪用タイヤドーザー13t級(2人乗)1機 ・除雪用タイヤドーザー8t級(2人乗)3機 ・除雪用タイヤドーザー5t級(1人乗)1機	26年度計画(26年度に計画する主な活動) 導入後の有効活用 ※隔年で除雪機を導入			
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
ア	タイヤドーザー13t級導入台数	機	0	0	1	0
イ	タイヤドーザー8t級導入台数	機	2	0	4	0
ウ	タイヤドーザー5t級導入台数	機	0	0	1	0
エ	歩行用除雪機	機	0	0	2	0

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	①生活道路(除雪対象路線)の利用者 ②生活道路(除雪対象路線) ③雲南市道除雪を目的とする除雪機	ア 人口【国勢調査(推計)】	人	41,159	40,548	40,055	39,949
		イ 除雪対象路線延長	km	705	705	705	705
		ウ 除雪機導入台数	機	2	0	6	0
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
①市内を安全で迅速に移動できるようにする。 ②除雪による生活道路機能の維持管理 ③円滑な除雪のため導入する	ア 人口【国勢調査(推計)】	人	41,159	40,548	40,055	39,949	
	イ 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	55.7	56.9	55.4	60.0	
	ウ 除雪機導入台数	機	2	0	6	0	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
【H25現年分】 10,191千円 ・除雪用タイヤドーザー8t級(1機) 8,610千円 ・ハンドガイド式歩行用除雪機(2機) 1,581千円 ※地方債: 8,000千円 【H24繰越分】 49,340千円 ・除雪用タイヤドーザー13t級(1機) 15,026千円 ・除雪用タイヤドーザー8t級(3機) 27,279千円 ・除雪用タイヤドーザー5t級(1機) 7,035千円 ※社交金: 32,842千円、地方債: 14,900千円	財源内訳	千円	11,998	0	32,842	0
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円	5,999	0	22,900	0
	その他	千円				
	一般財源	千円			3,789	
	事業費計(A)	千円	17,997		59,531	
人件費	正規職員従事人数	人	1		3	
	延べ業務時間	時間	80		200	
	人件費計(B)	千円	315		779	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	18,312		60,310	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・建設業者の減少や縮小に伴い、除雪機械台数は合併時と比較すると約30台減っており、除雪機械の更新は業者にとって高いハードルとなっている。そのため、市所有の除雪専用機械を導入し、除雪能力を向上させる必要がある。	・平成25年度は6台の除雪ドーザーを購入し、除雪体制を強化した。 ・今後も計画的な除雪機の更新や導入が必要である。	・市民、議会から豪雪時や除雪作業について、迅速な対応を図る除雪体制の強化を求められている。

事務事業名	除雪機械整備事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	・隔年での導入計画を立てているが、業者数の減少や縮小に伴う機械台数の減少により、除雪機械が不足する場合は、市で除雪機械導入を検討する必要がある。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無	理由	・業者数の減少や縮小により、除雪機械台数の減少が見込まれる中、事業を廃止した場合、安全な道路網の確保が困難となる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		・緊急車両等が目的地に到達しない可能性がある。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる			
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない			
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由	・統廃合できる事業はない。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	・業者保有台数が減少する中、市所有の除雪機械を増やさなければならず、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		・競争入札を行っているため、これ以上の単価削減も困難である。	
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	・市として必要な除雪機械の導入であり、委託はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	・受益者は、不特定多数の道路利用者のため、公平であり、受益者負担もない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・業者数の減少や縮小により、業者借り上げ機械台数の減少が見込まれるなか、事業を廃止した場合、安全な道路網の確保が困難となる。	
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	・平成25年度に除雪ドーザー6機を新規導入し、合併時と比較して除雪能力が大幅に向上した。	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上			●																				
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<p>・業者数の減少や縮小により、業者借り上げ機械台数の減少が更に見込まれる。これらの対処として、業者保有機械に対する維持管理費への助成増や、雲南市所有機械台数の増を進める必要がある。そのため、平成25年度で除雪機械を6台購入し、市が所有する台数(リースを含む)は、合併時より17台増となった。</p> <p>・歩行用除雪機も平成25年度に2台購入し、合併時より12台増となっている。</p> <p>・導入機械の有効利用のため、オペレーター確保対策が必要である。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																							